

## 回復期機能病床整備補助金

【目的】 2025年の医療需要に基づく病床機能「高度急性期」、「急性期」、「回復期」、「慢性期」のうち佐賀県で明らかに不足する回復期病床の確保。

【内容】 ①急性期や慢性期といった他機能から回復期へ転換及び回復期を維持する場合の施設整備補助  
②急性期や慢性期といった他機能から回復期へ転換及び回復期を維持する場合の設備整備補助

【財源】 地域医療介護総合確保基金（負担割合：国2/3、県1/3）

## 佐賀県回復期機能病床整備事業費補助金交付要綱

第1条 知事は、佐賀県地域医療構想に基づく県内の新たな医療提供体制の整備促進を図るために必要となる施設及び設備の整備に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

【補助対象区分、補助対象経費、補助率等】

1. 補助対象区分		2. 基準額	3. 補助対象経費	4. 補助率
施設整備	新築・増改築	9,000千円×整備後の病床数(※)	回復期機能病床を整備する病院又は診療所の新築、増改築、改修に要する工事費又は工事請負費(病室、診察室、処置室、記録室、患者食堂、談話室、機能訓練室、浴槽、寝具倉庫、バルコニー、廊下、便所、冷暖房、付属設備等)	1/2
	改修	3,747千円×整備後の病床数(※)		
設備整備		10,800千円/1ヶ所	回復期機能病床の整備に伴い必要な医療器具等の備品購入費 ただし、一品当たりの単価が100千円以上のものに限る。	

※なお、1㎡あたりの費用は360,000円、1床あたりの面積は25㎡を上限とする

- 各医療機関の医療機能については、医療需要の動向等を基に各医療機関が判断し選択。
- 回復期病床については、2025年の必要病床数に対して大幅に不足することから回復期機能病床整備事業費補助金を制度化（2017年度～2025年度）し、整備を推進。
- 補助金を活用する回復期病床の整備については、佐賀県地域医療構想調整会議の取扱要領第2（1）に基づき、あらかじめ分科会において説明・協議を実施。
- 整備が進み、必要病床数を充足したり、90%を超える充足率となってきた医療圏も存在。必要病床数を充足した医療圏の医療機関に対して補助金の交付を継続することは、必要性の観点から難しい。

※留意点：2025年の必要病床数の充足状況を把握するために用いている「病床機能報告」は病棟単位での報告のため、実病床数とは一定の乖離が生じる（例：病床機能報告で回復期と報告された病棟の中にも慢性期に近い患者が入院するなど病棟全体が回復期の患者でない場合もある）。

このため、補助金による整備目標（補助金を終了する基準）は医療圏における充足率100%ではなく、若干の弾力を持たせる必要があると思料。



補助金による整備目標（補助金を終了する基準）は、各医療圏の2025年の必要病床数の115%としてはどうか。

（必要病床数の115%を超えることとなる病床整備を事業内容とする補助金申請があった年度内の申請あれば、地域医療構想調整会議分科会の了承を得た、全ての医療機関の申請を補助対象とする）

# 諸条件を加味した病床機能(R6年度)

- 以下を令和6年度病床機能報告の結果に反映(いずれも令和6年度までの分科会で協議・了承済み)
  - ・急性期病床の中で高度急性期機能に相当するもの及び高度急性期病床への転換を予定しているものを高度急性期に修正
  - ・急性期病床または慢性期病床の中で以下に該当するものを回復期に修正
    - ①回復期病床への転換を予定している病床
    - ②地域包括ケア病床入院医療管理料を算定している病床(地域包括ケア病床)
- ・上記のほか、病棟再編等により病床機能の変更(廃止含む)を予定しているものを変更後の機能に修正

	医療機能	病床機能報告		分科会協議	合計	必要病床数	
		R6年	地域包括ケア			R07年	充足率
県全体	高度急性期	255	0	227	482	697	69.2%
	急性期	5,027	-150	-250	4,627	2,638	175.4%
	回復期	2,287	178	82	2,547	3,099	82.2%
	慢性期	3,507	-28	-120	3,359	2,644	127.0%
	休床	643	0	-39	604		
	合計	11,719	0	-100	11,619	9,078	128.0%
中部	高度急性期	133	0	170	303	372	81.5%
	急性期	2,343	-67	-180	2,096	1,168	179.5%
	回復期	991	83	2	1,076	1,430	75.2%
	慢性期	1,182	-16	-33	1,133	855	132.5%
	休床	277	0	-39	238		
	小計	4,926	0	-80	4,846	3,825	126.7%
東部	高度急性期	20	0	7	27	31	87.1%
	急性期	458	-10	-3	445	286	155.6%
	回復期	429	10	0	439	472	93.0%
	慢性期	819	0	0	819	559	146.5%
	休床	13	0	0	13		
	小計	1,739	0	4	1,743	1,348	129.3%

	医療機能	病床機能報告		分科会協議	合計	必要病床数	
		R6年	地域包括ケア			R07年	充足率
北部	高度急性期	16	0	50	66	101	65.3%
	急性期	727	-28	-50	649	378	171.7%
	回復期	264	40	36	340	269	126.4%
	慢性期	559	-12	-36	511	437	116.9%
	休床	132	0	0	132		
	小計	1,698	0	0	1,698	1,185	143.3%
西部	高度急性期	0	0	0	0	32	0.0%
	急性期	397	0	0	397	171	232.2%
	回復期	189	0	0	189	244	77.5%
	慢性期	266	0	0	266	272	97.8%
	休床	63	0	0	63		
	小計	915	0	0	915	719	127.3%
南部	高度急性期	86	0	0	86	161	53.4%
	急性期	1,102	-45	-17	1,040	635	163.8%
	回復期	414	45	44	503	684	73.5%
	慢性期	681	0	-51	630	521	120.9%
	休床	158	0	0	158		
	小計	2,441	0	-24	2,417	2,001	120.8%